

日本年金機構令和5年度計画（案）の概要等の修正箇所〈抜粋〉

赤字：追記した部分　青字：削除した部分

項番	修正頁	修 正 案
令和5年度計画（案）概要		
1	P 4	<p>(5) 情報提供の充実 【公的年金制度に対する理解の促進】 ○教育関係機関や企業等における年金セミナー及び年金制度説明会の実施結果を検証し、実施内容の充実を図るとともに、参加者の一層の拡大を図る。</p>
2	P 6	<p>(8) 社会保険オンラインシステムの刷新・レベルアップ 【年金業務システムフェーズ2】 ○年金業務システムの中核部分を構築する大規模なシステム開発及び現行システムからの移行を実施する開発工程を確実に進める。開発に当たっては、プロジェクト憲章の改定を行うとともに、国民の年金記録を安全かつ確実に移行させることを最優先として取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から実施している基本設計の修正作業を完了させる。 ・本格開発に着手し、スケジュール遅延や品質低下を起こさないよう適切に管理しながら推進する。 ・開発工程を着実に進めるため、引き続き、体制の整備・役割の明確化を図るとともに、職員のスキル向上策を実施する。
令和5年度計画（案）新旧対照表（本文）		
3	P 34	<p>I 提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 6. 年金記録の正確な管理と年金記録問題の再発防止 (1) 年金記録の確認等の対応 ④ 未統合記録の検証 これまでの未統合記録の解明状況を踏まえ、令和4年度から実施している死亡者の記録や持ち主の手がかりがまだ得られていない記録についてのサンプル調査を行うとともに、年金受給につながる可能性について検証する。</p>
4	P 45	<p>8. 分かりやすい情報提供及びサービス改善の促進 (2) 公的年金制度に対する理解の促進 ① 年金セミナー、年金制度説明会等の充実 ア 年金セミナー等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度改正を含む公的年金制度の理解を一層深めるため、教育関係機関や企業等における年金セミナー及び年金制度説明会の実施結果を検証し、実施内容の充実を図るとともに、参加者の一層の拡大を図る。

項番	修正頁	修正案
5	P 59	<p>II 業務運営の効率化に関する事項</p> <p>3. 社会保険オンラインシステムの運用・改善・開発</p> <p>(2) フェーズ2への対応</p> <p>フェーズ2は年金業務システムの中核部分を構築する大規模なシステム開発及び現行システムからの移行を実施する開発工程を確実に進める。進めるに当たっては、<u>プロジェクト憲章の改定を行うとともに、国民の年金記録を安全かつ確実に移行させることを最優先として次の事項を対応する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度から実施している基本設計の修正作業を完了させる。 ・ 本格開発に着手し、スケジュール遅延や品質低下を起こさないよう適切に管理しながら推進していく。 ・ 開発工程を着実に進めるため、引き続き、体制の整備・役割の明確化を図るとともに、職員のスキル向上策を実施する。
6	P 94	<p>III 業務運営における公正性及び透明性の確保その他業務運営に関する重要事項</p> <p>4. 人事及び人材の育成</p> <p>(1) 人事方針、人材登用</p> <p>⑤ 女性の活躍推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性職員を対象としたキャリア面談、クラス別研修及び健康管理研修を引き続き実施するとともに、<u>各種研修について個々の取組に継続的な・関連性を持たせキャリア形成に結びつき、また、性別等を問わず能力を発揮することができ、更なる組織活性化に繋がるような研修内容の充実・強化を図る。</u>